

経済科学

論文

ラオス・サヴァナケット特別経済区の有効性に関する考察 野崎謙二 ... 1

サブプライム問題と2008年の米国地方銀行の破綻について 水野伸昭 ... 17

研究動向

資金法にもとづく再計算利益の有用性
—監査法人交代企業を対象として— 佐藤倫正 ... 37

名古屋大学大学院経済学研究科

2009. 12

『経済科学』

本誌は、名古屋大学大学院経済学研究科の機関誌であり、経済学・経営学に関する創造的な研究成果の公刊を目的としている

編集委員会

木村彰吾 皆川 正 長尾伸一

『経済科学』投稿規定

1. 投稿原稿は原則として、(1)論文、(2)研究動向（論点をめぐって、資料解題を含む）、(3)書評の3つの項目に分類される。そのうち(2)と(3)については、編集委員会が執筆者を決定、依頼する。

2. 投稿原稿は、以下の枚数制限を守ること。なお、原稿はワープロ原稿とする。

論文 和文は英文タイトルを添えて、A4サイズ（40字×30行/頁）で17枚（24枚まで掲載することがある）まで。英文はA4サイズ・ダブルスペース（28行/頁）で30枚（40枚まで掲載することがある）まで。それぞれ、英文要旨を200語以内で添付のこと。なお、レフェリー申請論文の場合、A4版1枚程度に、論文の目次および論文の要旨も添付のこと。

研究動向 和文でA4サイズ（40字×30行/頁）10枚

書評 和文でA4サイズ（40字×30行/頁）4枚

3. 投稿論文の採否は、編集委員会が委嘱する審査委員（レフェリー）の審査に基づき、編集委員会で決定する。

4. 投稿に際しては、事前に事務局まで必ず問い合わせてください。

本誌への投稿、その他本誌へのお問い合わせ先は、以下の通り。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院経済学研究科内

『経済科学』編集委員会

電話：052-789-2360/FAX：052-789-4924

Information for Authors

1. The Economic Science publishes articles which are unpublished make original contributions to Economics and Business Management, both theoretically and empirically.
2. Manuscript should be written in English or in Japanese.
3. Three complete copies of any submission are requested. These are not returnable.
4. Submitted papers are refereed.
5. Manuscript must be type-written, double spaced, on one side of 8.5 by 12 inches or A4 metric white paper, and its length can not exceed 40 pages.
6. The first page should include: Title, Author(s) name, Affiliation, and Abstract (not more than 200 words).
7. When a refereed paper is submitted, a table of contents and a summary of paper must be presented on a separate page of A4.
8. Papers for consideration for publication should be sent to:

Editorial office
The Economic Science
Graduate School of Economics, Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN
Phone: +81-52-789-2360 / Fax: +81-52-789-4924

前号目次

第57卷第2号

論文

商品先物をどのように個人の資産形成に役立てていくか?	家森 信善
—商品指数の動きから見た投資商品としての特徴について—	土井 康裕
ベトナムにおけるFDIの効果—二輪車・四輪車産業のケーススタディー—	小崎 卓也
VU Thi Bich Lien	

正統性の獲得プロセス—看護婦養成事業の事例— 土橋 力也

博士論文審査要旨

三城安生:混合寡占市場における空間競争	
朱宏飛:Japanese Investment Behaviors and Corporate Finance	
~An Empirical Analysis after the Bubble Economy Collapse~	
(日本の設備投資行動とコーポレートファイナンス—バブル経済崩壊後の実証分析—)	
富村圭:金融機関におけるコーポレート・ガバナンス—取締役会の規模と社外取締役の機能に着目して—	
陳鳳鳴:Behavioral Models for Turnover Intention: The Case for Knowledge Workers in Malaysia	
(転職意欲の行動モデル:マレーシアの知識労働者に関する実証研究)	
米田耕士:賃金プロファイルのフラット化の要因に関する研究	
—非自発的離職率の上昇および技術変化によるスキル陳腐化の加速—	
Nguyen Dang Minh:The Empirical Process Design in Japanese Automobile Manufacturing Plants	
(日本の自動車製造工場における実践的工程設計)	
林久嗣:技術マネジメントとしての原価企画	
山下克之:ストック・オプションの会計—不確実性が会計基準に及ぼす影響—	
中野晴之:財管一致に向けた会計情報システムの構築—クレジット会社を題材とした事例研究—	
林琳:グローバル経営戦略と組織デザイン	

経　　済　　科　　学 第57卷 第3号

2009年12月25日発行

編集者 名古屋大学大学院経済学研究科

編集委員 木 村 彰 吾

皆 川 正

長 尾 伸 一

発行所 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院経済学研究科

THE ECONOMIC SCIENCE

Vol. 57

December 2009

No.3

CONTENTS

ARTICLES

Consideration on the Effectiveness of the Special Economic Zone Policy in Savannakhet, Laos	NOZAKI Kenji	1
Subprime Problems and U.S. Regional Bank Failures in 2008	MIZUNO Nobuaki	17

SURVEY ARTICLE

Usefulness of the Recalculated Earnings Based on Funds Flow Approach : Evidence from Auditor Changes in Japan	SATOH Michimasa	37
--	-----------------	----

EDITED BY

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS
NAGOYA UNIVERSITY
NAGOYA, JAPAN